

事務連絡

令和6年6月28日

土浦市立学校 児童生徒の保護者の皆様へ

土浦市教育委員会

学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少（漏出）症への適切な対応について（周知）

土浦市立学校では、日頃より、児童生徒の安全確保の一環として、事故の防止と事故後の適切な対応に努めておりますが、この度、脳脊髄液減少（漏出）症への十分な情報をもとにした適切な対応に向けて、改めて保護者の皆様にも御理解を深めていただけますよう別添参考資料にて周知させていただきます。

脳脊髄液減少（漏出）症とは、別添参考資料にあるとおり、スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する疾患です。

本市では、各学校に対し、学校で脳脊髄液減少（漏出）症が疑われる事故が発生した後、児童生徒に頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、安静を保ちつつ医療機関への救急搬送や、保護者に連絡して医療機関の受診を促すなどの適切な対応を助言しております。

全国の症例では、事故後の後遺症として、通常の学校生活を送ることに支障が生じているにもかかわらず、まわりの人から単に怠慢である等の批判を受け、十分な理解を得られなかったことなどの事例があるとの指摘もなされています。

そのため、各学校においては、教職員等の脳脊髄液減少（漏出）症に関する理解を深めるとともに、必要に応じ、養護教諭を含む教職員等が連携しつつ、個々の児童生徒等の心身の状態に応じ、学習面を含め学校生活の様々な面で適切に配慮するよう周知しているところです。

なお、「脳脊髄液減少（漏出）症」に対する保険診療として治療を受ける際には、診断に関する要件や医療機関の施設基準がありますので、適宜医療機関に相談いただくようお願いします。また、学校の管理下における負傷による当該症状の治療で、保険診療の対象となるものについては、独立行政法人日本スポーツ振興センターが実施する災害共済給付の対象となりますので、併せて御留意願います。

保護者の皆様におかれましては、当該情報について御承知の上、適切に対応いただきますようお願いいたします。

《本件についてのお問合せ》

土浦市役所 TEL/029-826-1111

土浦市教育委員会指導課（内線/5130）

保健福祉部健康増進課（内線/7502）

スポーツ外傷等による脳脊髄液減少(漏出)症への適切な対応について

① 脳脊髄液減少(漏出)症



スポーツ庁

スポーツ活動中に頭頸部や背部等の外傷等が発生することがありますが、スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、**起立性頭痛(立位によって増強する頭痛)**などの頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する脳脊髄液減少(漏出)症とよばれる疾患が起こることがあります。



② 早期の適切な対応



スポーツ外傷等の後、頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、**水分補給**や**横に寝て安静を保つ**こと、また、**医療機関で受診**をさせたり、家族に連絡して医療機関の受診を促すなどの**適切な対応**が早期に行われることが**重要**です。



③ 受診

「脳脊髄液漏出症」については、早期の受診が望まれます。安静と水分補給で改善しない場合は硬膜外自家血注入療法(いわゆるブラッドパッチ)^{*1}(保険適用の対象)という治療法が選択される場合もあります。

保険診療として治療を受けるためには、診断に関する要件や医療機関の施設基準がありますので、適宜医療機関に相談いただくようお願いいたします。

^{*1} ご本人の血液を硬膜の外側に注入し、その血液で硬膜の漏出部位を塞ぐ方法。

